

平成23年2月分電力需給状況

需要の概要

平成23年2月の販売電力量は、24億9千5百万kWh時、前年比 105.2%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、1月から2月にかけての気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 108.3%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、2月の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 102.2%となった。

産業用の「大口電力」は、全ての主要業種が前年を上回ったことから、前年比 104.9%となった。

電灯の2月分検針期間は、前月(1月)の検針日～当月(2月)の検針日の前日までの1か月間であるため、1月における低気温の影響の一部は、2月分に反映される。
今回、特に1月が前年に比べ低気温であったことから、電灯の前年比は大きくなった。

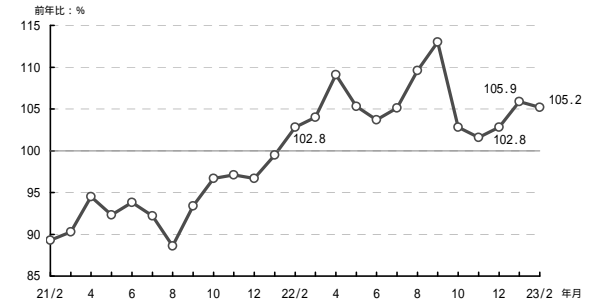
需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	1,019	108.3
	電 力	173	103.3
	計	1,192	107.6
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	495	102.2
	産業用電力	808	103.8
	うち大口電力	(640)	(104.9)
	計	1,303	103.2
販売電力量 計		2,495	105.2
融 通		448	125.4

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
業 種	電力量	前年比		
		23/2月	23/1月	22/12月
織 維	26	119.9	138.1	115.8
紙・パルプ	130	101.7	103.4	96.3
化 学	91	100.1	101.9	109.4
鉄 鋼	73	106.2	115.9	106.3
機 械	148	112.7	112.2	112.3
そ の 他	172	101.5	104.5	104.6
合 計	640	104.9	108.0	105.8

〔参考1〕販売電力量の前年比の推移



〔参考2〕4県都平均気温

	()							
	23/1月				23/2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	5.0	3.7	3.8	4.1	6.9	5.6	10.7	7.5
平年差	1.4	2.0	1.5	1.7	1.6	0.9	4.2	1.4
前年差	0.5	1.8	3.7	2.1	0.1	0.9	1.8	0.9

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 180.0%となった。
- 水力は、湯水の影響などにより、前年比 62.0%となった。
- 火力は、原子力の増加などにより、前年比 82.1%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(45)	1,391	180.0	出水率 82.8% (22年2月出水率 120.9%)
水力	(3)	106	62.0	
火力	(51)	1,590	82.1	
新エネ	(1)	29	98.6	
発受電計	(100)	3,116	107.1	
その他		9		
供 給 計		3,107	106.7	

注1. 新エネには西条バイオマス(0.5百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

〔参考3〕各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)			
業 種	電力量	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
		販売電力量計	(104.3) 552	(107.5) 413	(105.7) 873

注.()内は前年比